



# まちづくりの指針を懇談

— 市内14カ所を巡り、地域の皆さんと市長とがまちづくりの指針について懇談する『地域懇談会』。今年も6月21日から7月29日にかけて行われました。今回は皆さんからいただいた意見の一部を紹介します。

## 定住促進

移住者が増えたということだが、県外からが多いのか、県内の被災者が多いのか。被災者は住所を移していないため数に入っていない。県内からの移住者が多い。また、転出よりも転入が多く、社会増となっている。年代が30歳半ばから40歳代の持ち家を建てる年代が移住している。現在、空き家対策を進めており、調査の結果市内の空き家が3百件余り、そのうち2百数十件は住むことができる状況だ。市では、持ち主に賃貸や売却できるかなどの意向を調査し、定住促進のため発信していきたいと考えている。

定住促進は転入者を増やすことも大事だが、未婚者対策

も大切ではないか。

— 社会増が見込める中で、自然減の解消ができない。婚活については、過去にパーティーを開催した。今年度から婚活事業に本格的に力を入れていく。おおむね30代から40代の出会いの場を作ってほしい。成功例が少ないが、他市町村の成功例の情報交換をしながら取り組んでいく。

イクロシーベルト以上の箇所を除染する。(B)は、別途進めることになる。

道路・側溝・ため池の除染について聞きたい。

## 除染

山林除染の今後の計画について聞きたい。

— 山林除染は、(A) 宅地に接している山、(B) 森林公園など、(C) A、B以外と3つにパターン分けされており、今回の除染は(A) 宅地に接している山になる。事前に線量を測定し、0.23マ

— 住宅除染は線量の高かった地区から始めた。道路除染もその順番で入っており本年度中に進めていく。ただ、市街地に関しては効率の面で住宅除染と道路除染を同時に進めている。できる限り早い時期に終わらせたい。側溝もしっかり除染する。ただ、年間1ミリシーベルトの基準があるのでそれを下回っている箇所を除染は難しいだろう。ため池の除染について、農水省から除染の方法は出ているが、8千ベクレルを超えた汚染土壌を市が勝手に仮置き場に運ぶことはできない。国の責任





で行うことで、ようやく中間貯蔵施設へ搬出する決定が出たのでそれに基づいて市で方針を決めた。平成29年度に実施することになると思う。

## 仮置き場

除染作業が順調に進んだ後は仮置き場に運ばれる。中間貯蔵施設に搬出できる時期を聞きたい。

― 昨年中間貯蔵施設へパイロット輸送で搬出した。本年度も搬出する予定だが受入れがまだ整っていない状況で、どんどん搬出することができない。環境省は、順番としては浜通り地区から運び入れる考えで、一刻も早く中間貯蔵施設へ運びたいがなかなか厳しい状況だ。仮置き場の近くに住んでいる皆さんが景観など色々な面でご苦勞されていることは十分理解している。環境省ばかりではなく、市町村や県が一丸となって中間貯蔵施設の完成と運び出せる体制を作る努力をしていくべ

き。市は中間貯蔵施設へ搬出するまで、今後も仮置き場の管理をしっかりしていく。

## 復興公営住宅

復興公営住宅はいつから入居になるのか。

― 樹形の復興公営住宅は完成した順に入居している。7月27日には吹上の復興公営住宅で鍵の引渡しを行う。下田の復興公営住宅についても完成次第、順に入居する予定。

## 防災

新しくできた防災センターの備品を使用する時は、命にかかわる時なので安全に使ってほしい。

― 先日防災センターの竣工式を行った。収納している備品は、和舟・FRPのボート・水中ポンプ・ホース・水防資機材・土のう袋・シートなど。排水ポンプの操作、取り付けなどは業者が行う。防災センターに関して市が責任を持つ

て運営していく。資機材を扱う消防団の皆さんには自らの命を守ることを一番に考え、地域の皆さんのために何ができるかという意識をもって取り組んでほしい。

― 昨年の水防技術競技大会で本市の消防団が東北一となった、それだけ意識と技術が非常に優れている。今後も火災・水防の訓練を行い、团长はじめ消防団の皆さんと共に意識の高揚を図っていく。

今、自主防災組織設置を町内会で立ち上げようと進めているが、いざという時にどのように機能するのか心配だ。

― 前向きに自主防災組織に取り組んでいただいていること、ありがたく思っている。ぜひ立ち上げてほしい。立ち上げた後の訓練については、市や消防署の職員にアドバイザーを受けながら年に1、2回程度の小規模防災訓練を行えるような形を作ってほしい。自助・共助・公助という言葉があるが、災害が起こった

ら、まずは自らの命を守ることに。次に地域の皆さんと助け合いをしていく。残念ながら公が動くのは最後だ。自主防災組織を立ち上げながら、地域コミュニティをしっかり結んで災害に対応していただくことが非常にありがたい。今不安に感じていることについて

は、市役所、消防署、消防団のOB、現役の消防団の皆さんと一緒にしながら、防災訓練など行ったり、市内でも先に自主防災組織を立ち上げ活発に活動したりしている地区もあるので、そういう地区の皆さんと意見交換をするのも有効だと思う。

## 防犯

市内に防犯灯が少ない。通学路なども暗い箇所が多い。防犯灯を増やしてまちを明るくしてほしい。

― 防犯灯に関して大変ご迷惑をかけている。各地区で要望がある。防犯灯の予算は年間約50機で、防犯協会から要望

## 河川整備

阿武隈川築堤事業について詳しく教えてほしい。

― 国交省の事業となっていて。平成の大改修で本市も堤防を造ったが、その際は本築堤高ではなく暫定高で造った。今回の工事で市街地側の本築堤と併せて高木側も造っていく。

## 道路整備

ドリームラインの計画はどのような進ちょく状況か。

― 長屋平から根岸に向かって測量は終わったが、工事は予算の関係がある。現在施行中なのは大池の箇所。そこから根岸までの用地は確保している。